



平成 24 年 11 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社プリンパル・コーポレーション
代表者名 代表取締役社長 菊地 博紀
(JASDAQ・コード 3587)
問合せ先 役職・氏名 取締役 松田 高宏
電話 03-3582-3190 (代)

新株予約権発行に関する資金使途変更のお知らせ

当社は、平成 24 年 6 月 8 日付「第三者割当により発行される新株予約権の募集に関するお知らせ」(以下「前回増資」という。)にて開示いたしました調達資金の使途(以下「前回増資の資金使途」という。)について、下記のとおり変更しておりますので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社グループは、事業の大半を従来の天然資源開発投資事業より、食品事業にシフトし、連結子会社である㈱ハミングステージにおけるスーパーマーケット 5 店舗の直営店化を行うほか、飲食店「ベジスタ赤坂」及び「道玄坂 旅籠」の運営により、食品事業における消費者へのもうひとつの窓口を構築することで経営の安定化を図るべく、事業を推進してまいりました。

今般の新株予約権の発行後、借入金の返済に関して、借入先と協議を行ってまいりましたが、協議の結果、当初の想定よりも早期に返済せねばならない借入額が増加しました。そのため、既存事業増強資金として予定していた飲食店の収益性の改善するための費用 20,000 千円、及び LED 事業における、商品・材料の仕入の資金である 40,000 千円の資金投下を取りやめることといたしました。

上記に加え、当社グループの運営するスーパー「ハミングステージ」は、今般の資金調達による資金の一部を投下したにも関わらず、顧客数、売上原価ともに回復せず、結果として売上高が当初の目標に達成せず、業績不振が続いております。これにより、当初の想定よりも運転資金が必要する金額が増加しました。

そのため、借入金の返済及び運転資金の金額を増加しております。また、その他実際の支払額に合わせ、金額の修正を行っております。

なお、当該事象が発生した時点で開示を行うべきものであり、実際には平成 24 年 8 月中旬以降に当該事象となる支出を行ってまいりましたが、当社は当該事実確認に時間を要していたため、お知らせが遅くなってしまいましたこととお詫び申し上げます。

当社グループといたしましては、スーパー及び飲食店の運営を中心とした食品事業をコア事業として、業績の早期回復に向け、今後も引き続き業務に邁進してまいります所存であります。株主・投資家の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 変更の内容

変更の内容については、下記のとおりとなります。

項目 具体的な使途	変更前		変更後	
	金額	支出予定時期	金額	支出予定時期
① 平成24年3月期株主総会開催等費用	13,600,000	平成24年6月	13,222,437	平成24年6月
② 当社未払債務の支払	58,440,229	平成24年6月～9月	43,287,274	平成24年6月～9月
③ 当社子会社（㈱ハミングステージ）の未払債務の支払	98,837,677	平成24年6月～9月	68,138,999	平成24年6月～9月
④ 運転資金	121,205,426	平成24年6月～12月	129,641,443	平成24年6月～10月
⑤ 借入金の返済	368,016,668	平成24年6月～12月	465,809,847	平成24年6月～10月
⑥ 当社既存事業増強費用	60,000,000	平成24年7月～10月	0	—
合計	720,100,000		720,100,000	

(変更後)

① 平成24年3月期株主総会の開催等費用

概ね、当初の予定通りです。

② 当社未払債務の支払

43,287千円につきましては、当初の予定通り当社未払債務の支払に充当しておりますが、当初の予定よりも借入金の返済に必要な資金が増加したため、当初想定していた金額よりも支払金額が減少することとなりました。

なお、今後、支払いが遅延している未払債務の解消が行われない場合、取引業者等との取引が円滑に進まず、今後の当社の事業活動の遂行に支障が生じるリスク、更には差押さえ、並びに訴訟等を提起されるリスクがあると考えております。

(単位：千円)

未払債務の内訳	平成24年4月末日 現在残高	実際返済額
未払人件費	18,340	6,090
社会保険料・厚生年金・厚生年金基金	4,918	4,918
源泉所得税、住民税預り金	4,723	4,723
証券代行費用	3,502	3,502
監査報酬	12,060	7,335
業務委託報酬	10,019	8,767
本社家賃、水道光熱費等	7,723	5,604
借入先にかかる信用調査費用	6,581	200
その他	3,064	2,143
未払債務残高合計	70,935	43,287

③ 当社子会社（株式会社ハミングステージ）の未払債務の支払

68,139千円につきましては、当初の予定通りハミングステージの未払債務の支払に充当しておりますが、当初の予定よりも貸付金の返済に必要な資金が増加したため、当初想定していた金額よりも支払金額が減少することとなりました。

なお、今後、支払いが遅延している未払債務の解消が行われない場合、取引業者等との取引が円滑に進まず、今後の当社の事業活動の遂行に支障が生じるリスク、更には差押さえ、並びに訴訟等を提起されるリスクがあると考えております。

(単位：千円)

未払債務の内訳	平成 24 年 4 月末日 現在残高	実際返済額
未払法人税等、源泉所得税、住民税預り金	20,105	17,576
労働保険料	7,423	2,056
社会保険料・厚生年金	42,463	18,131
店舗家賃等	19,863	17,658
その他	13,180	12,716
未払債務残高合計	103,036	68,139

④ 運転資金

平成 24 年 6 月から 10 月までの運転資金として 119,322 千円、及び一時的に必要とする費用に対する支払としております。また、上記資金用途に加え、新たに本社事務所の保証金の積増金として 10,319 千円を支払っておりますが、本来であれば運転資金から捻出するところ、業績が厳しいことから、新株予約権の発行による調達資金から支払わざるを得ませんでした。その結果、合計 129,641 千円を充当し、資金繰りの安定化を行っております。

⑤ 借入金の返済

今般の新株予約権の発行後、借入金の返済に関して、借入先と協議を行ってまいりましたが、協議の結果、当初の想定よりも早期に返済せねばならない借入額が増加しました。先的に借入金の返済を行う内訳は、法人については公正証書の締結により分割払いの決定がなされているものと破産により破産管財人より通知が来ているものについて、即時返済を行いました。個人については、当社との事業シナジーを目的として資金提供を行っていただいた訳ではなく、当社を支援したいという好意に基づき、ご融資に応じて頂いているということから即時返済を行っていますが、今後の協議の結果、支払猶予の合意が得られた相手先については、早期に返済を行わないことといたします。法人については、当社を支援したいという好意と併せ、当社との事業的なシナジーを目的とされている性格もあるため、当社と致しましては、支払期限の延長等の交渉を随時行っており、今後の事業の進捗に合せて随時返済を行う旨の協議を進めております。しかしながら、借入先との合意が得られない場合、交渉結果如何によっては訴訟、差押のリスクがあることから、協議の結果、返済の猶予の合意が得られなかった借入先については、早期に支払いを行っております。また、借入金元本と同時に支払利息の支払いを行うこととなります。

(当初の資金用途)

(単位：円)

借入金の内訳	平成 24 年 4 月末日 現在残高	要早期返済額
法人 10 社	280,615,797	50,000,000
個人 13 名	278,106,668	278,016,668
外国人 (個人) 2 名	40,000,000	40,000,000
計	598,632,465	368,016,668

(変更後)

(単位：円)

借入金の内訳	実際返済額 (未払利息含む)
法人 7社	175,210,082
個人 13名	290,599,765
外国人(個人) 0名	0
計	465,809,847

⑥ 当社既存事業増強費用

今般の新株予約権の発行後、借入金の返済に関して、借入先と協議を行ってまいりましたが、協議の結果、当初の想定よりも早期に返済せねばならない借入額が増加しました。そのため、既存事業増強資金として予定していた飲食店の収益性の改善するための費用 20,000 千円、及び LED 事業における、商品・材料の仕入の資金である 40,000 千円の資金投下を取りやめることといたしました。

3. 今後の見通し

今回の資金使途変更による平成 25 年 3 月期の業績への影響につきましては、現在精査中であります。今後、業績見通しに大きな変動が生じた場合、速やかに開示してまいります